

SUMCO 株主通信

第21期 中間期

2019年1月1日～2019年6月30日

// INDEX

- 01 ごあいさつ
連結業績ハイライト
- 03 特集：5G通信の普及と
シリコンウェーハの成長
- 05 市場環境と業績見通し
- 06 会社情報・株式情報・株主メモ

半導体シリコンウェーハ



SUMCO

ごあいさつ



第21期 中間期 株主通信



1 技術で世界一の会社

2 景気下降局面でも赤字にならない会社

3 従業員が生き活きとした利益マインドの高い会社

4 海外市場に強い会社

株主の皆様には日頃からの格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2019年上期(1-6月期)の半導体シリコンウェーハ市場は、IoT、人工知能(AI)、一部の車載向け需要は引き続き堅調なものの、データセンター投資の減速に伴うメモリー需要の急減、産業向けや民生向けの成長の鈍化等により、シリコンウェーハ数量の調整が始まりました。

このような環境のもと、当社グループでは、「SUMCOビジョン」に基づき、顧客の高精度化要求や製品の差別化に対応した不断の技術開発により、顧客での高いプレゼンスを維持することに努めてまいりました。

2019年12月期の中間配当につきましては、当期における利益水準、将来の見通し、設備投資に係る資金需要および内部留保の状況等を総合的に勘案し、1株当たり25円に決定しましたのでご報告します。

今後とも倍旧のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役 会長兼CEO 橋本 眞幸

株主の皆様には平素より当社へのご理解とご支援を頂き厚く御礼申し上げます。

当上期の業績は世界的な半導体需要の鈍化により、対前期比減少傾向にありました。このような環境の中、300mm高精度シリコンウェーハ増産投資による減価償却費の増加はあったものの、当上期は営業利益335億円、親会社株主に帰属する四半期純利益229億円を計上することができました。

この結果、自己資本比率は対前年期末2.6%改善し51.0%となり、中期的な目標としていた50%以上の自己資本比率を達成することができました。

来る需要期に備えるため、増加が見込まれる最先端ウェーハの技術開発を進めるとともに、体質強化のために、引き続き、歩留改善、原単位低減、生産性向上等のコストダウンを推進し、収益の改善に努めてまいります。

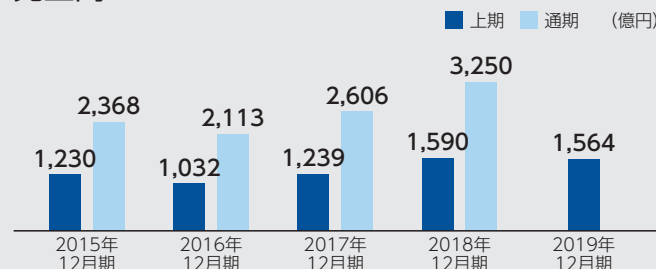
株主の皆様には、今後も引き続きご支援を賜りたくお願い申し上げます。

代表取締役 副会長 CFO 瀧井 道治

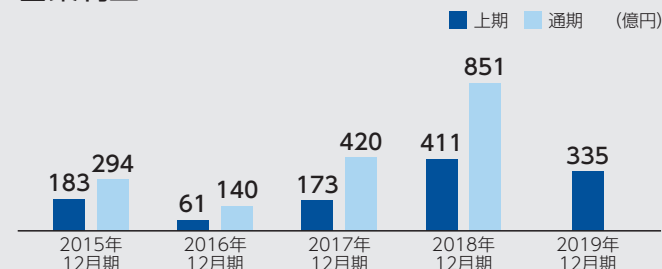
連結業績 ハイライト

(注) 日本会計基準。グラフ中の数字は億円未満切り捨て。

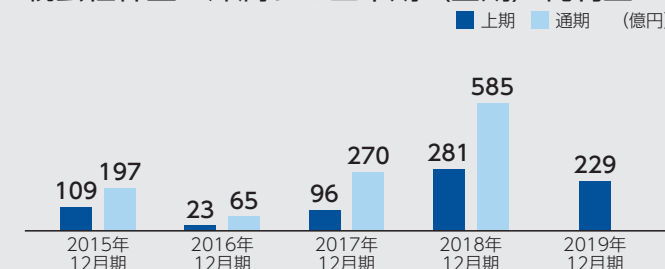
売上高



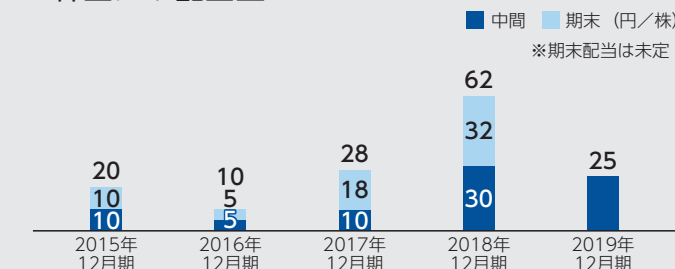
営業利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



1株当たり配当金



5Gは社会に革新的な変化をもたらし、シリコンウェーハの中長期成長を支えます

5Gとは

- ・第5世代移動通信システムのことで
- ・移動通信システムは約10年ごとに進化し、機能と利便性は、飛躍的に向上してきました(表1)
- ・2020年代は5Gの時代で、世界各国が普及に向けて取り組んでいます

表1. 移動通信システムの変遷

年代	世代	方式	サービス
1980年代	1G	アナログ	音声通話
1990年代	2G	デジタル	携帯メール
2000年代	3G	デジタル	インターネット閲覧
2010年代	4G	LTE	動画視聴

5Gの特徴

図1. 5Gの特徴

4Gより速度が100倍、容量が1,000倍
2時間映画のダウンロードが3秒

超高速
大容量

5G

超大量
端末接続

超低遅延

100万台/km²の同時接続
IoT (Internet of Things) 社会が進化



5G通信は4Gに比較して、電波の直進性が強く、到達距離が短い特徴があります
したがって、多数の基地局が必要になります

データ送信は遅延ゼロ、送信率100%
遠隔地の機器をリアルタイムで操作

5Gで変わる未来

- ・民生向けでは、動画配信、クラウドゲーム等のエンターテインメントが、ますます充実します
- ・産業向けでは、自動運転、工場自動化、遠隔医療、ドローン等の技術革新が加速します
- ・IoT社会にAIの進化も加わり、社会のあらゆる分野で革新的変化と新たな需要を生み出します
- ・なお、短期的には、米中貿易摩擦およびファーウェイ問題の影響で、基地局整備が遅れる懸念もありますが、中期的に5Gは、着実に拡大していきます

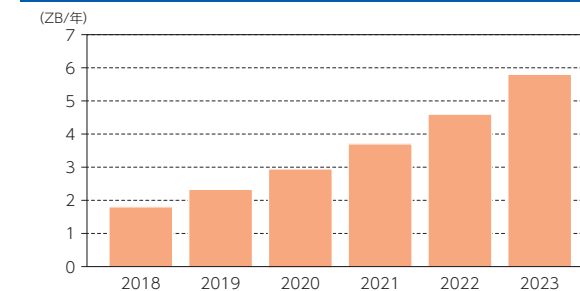
図2. 完全自動運転(当社のTVCMより)



データセンター向けの需要が伸びる

- ・5Gにより、データ通信量は飛躍的に増加します(図3)
データを保存するデータセンターのサーバーは、ますます必要になります
- ・サーバー台数の増加に伴い、高性能ロジック(MPU)と、データを保持するメモリー(NAND・DRAM)が、増加すると予想しています(図4)

図3. データ通信量(IPトラフィック)予想

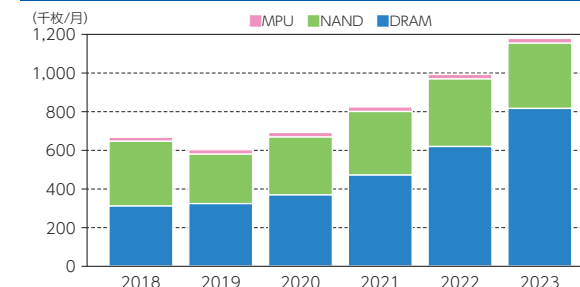


【出典:SUMCO推定】

5Gスマートフォン向けの需要が伸びる

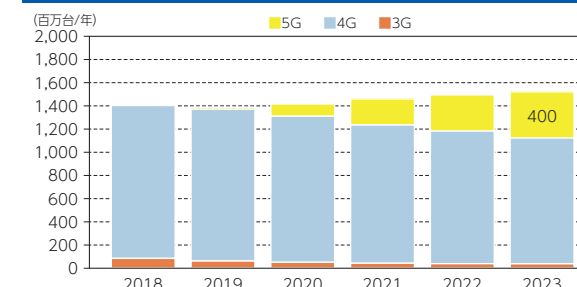
- ・2023年の5G対応のスマートフォン需要は、4億台/年と予想されています(図5)
- ・超高機能(超高速・超大容量・超高画質)で、1台当たりの300mmシリコンウェーハ需要は、現在のハイエンド機種より、約25%増加すると予想しています(図6)
- ・スマートフォンの台数成長が鈍化する中で、5Gスマートフォンの増加により、シリコンウェーハ需要は、成長し続けます

図4. サーバー向けの300mmシリコンウェーハ市場予想



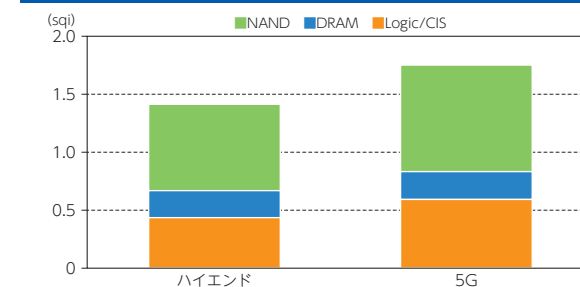
【出典:SUMCO推定】

図5. 5Gスマートフォンの台数需要予想



【出典:IDC】

図6. 5Gスマートフォンの1台当たりのシリコン面積



【出典:SUMCO推定】

市場環境と業績見通し

19年上期 (1-6月) 市場環境

19年上期における300mmシリコンウェーハは、スマホの販売台数停滞やデータセンターの投資抑制等による半導体需要の減少に伴い、数量調整が始まりました。
また、200mm以下の小口径ウェーハについても、一部の車載向けでは堅調なものの、産業・民生向けを含め全般的に軟化しました。

19年上期 (1-6月) 事業成績

上記のような環境のもと、当社グループでは、「SUMCOビジョン」に基づき、顧客の高精度化要求や製品の差別化に対応した技術開発により顧客での高いプレゼンスを維持するとともに、生産性の向上、および価格適正化による損益の改善に努めてまいりました。
この結果、2Q連結累計期間における当社グループの業績は、売上高1,564億円、営業利益335億円、経常利益327億円となりました。また、特別利益として退職給付制度改定益9億円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は229億円となりました。

今後の見通し 19年3Q累計 (1-9月)

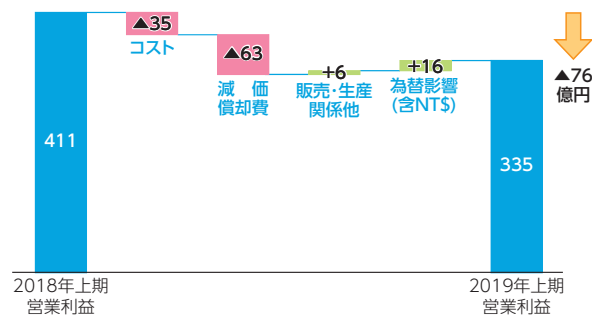
19年3Q(7-9月)の半導体用シリコンウェーハ市場は、300mmの先端ロジック向けは回復傾向が見られるものの、メモリ向けは引き続き顧客の在庫調整が継続すると想定しております。また、200mmは産業・民生向けの需要軟化により、調整局面が継続すると予想しております。
このような市場環境のもと、19年3Q累計の業績見通しについては、為替レートを109.7円／ドルとし、下表の通り予想しています。

営業利益増減分析(2018年上期→2019年上期)

(単位:億円)

	2018年上期	2019年上期	増減
売上高	1,590	1,564	▲26
営業利益	411	335	▲76
為替 (円／ドル)	108.9	110.5	+1.6

(単位:億円)



2019年3Q累計(1-9月期)連結業績予想

項 目	2018年3Q累計 実績(1-9月)	2019年3Q累計 予想(1-9月)	増減
売上高 (億円)	2,424	2,284	▲140
営業利益 (億円)	642	415	▲227
経常利益 (億円)	627	402	▲225
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (億円)	426	279	▲147
1株当たり四半期純利益 (円)	145.47	95.13	▲50.34
為替レート (円／ドル)	109.5	109.7	+0.2

注) 業績予想等の将来に対する記述は、当社が現在入手している情報、および、合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

会社情報

会社概要(2019年6月末現在)

商号	株式会社SUMCO
本社	〒105-8634 東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館 Tel : 03-5444-0808 https://www.sumcosi.com/
設立年月日	1999年7月30日
資本金	138,718百万円
従業員数	連結8,195名 単体3,995名
IRお問い合わせ先	広報・IR室 : 03-5444-3915

取締役(2019年6月末現在)

代表取締役 会長兼CEO	橋 本 眞 幸
代表取締役 副会長	瀧 井 道 治
代表取締役 社長兼COO	降 屋 久
代表取締役 副社長	平 本 一 男
取締役(常勤監査等委員)	吉 川 博
取締役(監査等委員)	田 中 等 *
取締役(監査等委員)	三 富 正 博 *
取締役(監査等委員)	太 田 信一郎 *
取締役(監査等委員)	不 破 章 雄 *

* 社外取締役(独立役員)

株式情報

株式情報(2019年6月末現在)

発行可能株式総数	804,000,000株
発行済株式総数	293,285,539株
総株主数	106,292名

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	Tel : 0120-782-031 (フリーダイヤル)
インターネットホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

株主メモ



第21期 中間期 株主通信

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月開催
基準日	定時株主総会議決権行使株主確定日 毎年12月31日 配当金支払株主確定日 期末配当金 毎年12月31日 中間配当金 毎年6月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告とし、当社のホームページ (https://www.sumcosi.com/)に掲載いたします。 ただし、事故その他のやむを得ない事由によって 電子公告による公告ができない場合は、日本経済 新聞に掲載して公告いたします。
上場取引所	東京証券取引所 市場第一部(証券コード:3436)

ホームページのご案内

当社は多くの株主・投資家の皆様にご利用いただけるよう、ホームページの充実を図っております。決算関係資料やニュースリリースなどのほか、当社が製造するシリコンウェーハについての情報なども掲載しております。ぜひご利用ください。

SUMCOホームページ <https://www.sumcosi.com/>

■ 株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

- 証券会社に口座を開設されている株主さまは、住所変更等のお手続きおよびご照会は、口座のある証券会社にてお願いいたします。
- 証券会社に口座を開設されていない株主さまは、下記電話照会先までご連絡ください。

■ 単元未満株式の買取請求について

単元(100株)未満株式の買取請求につきましては、株主さま口座のある証券会社にお申し出ください。
(証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主さまは、特別口座の管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。)

For All Innovation

半導体の進化が世の中を変える

時代を変え、風景を変え、あなたと私のこれからを変える

次の100年、半導体でどう変わるだろうか

シリコンウェーハは半導体テクノロジーの根源

半導体の進化が未来を創る

SUMCO

株式会社SUMCO

〒105-8634 東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館

Tel:03-5444-0808

<https://www.sumcosi.com/>

見通しに関する注意事項

本資料に記載された予測・予想・見込み・その他の将来情報および将来推定は、現時点で当社が利用可能な情報および一定の前提または仮定(当社の主観的判断に基づくものを含みます。)に基づくものです。

実際の業績などは、国内外の経済情勢、半導体市況、為替動向、その他のリスク要因により、本資料に記載された将来情報および将来推定と大きく異なる可能性があります。



環境保護のために、
大豆インクを
使用しております。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。